

令和7年度 61 回生 授業概要（シラバス）

|             |  |                                   |               |       |                   |
|-------------|--|-----------------------------------|---------------|-------|-------------------|
| 科目名         | 在宅療養を支える看護   | 分野/教育内容                           | 専門分野/地域・在宅看護論 |       |                   |
| 開講年次<br>時期  | 3 年前期<br>2025 年 4 月 11 日   | 単位数/時間                            | 1 単位/30 時間    |       |                   |
| 担当講師        | 氏名   | 所属・職位                             |               | 資格・免許 |                   |
|             | 菊池 美紀 先生   | 咲希訪問看護ステーション所長<br>エミフルナーシングホーム施設長 |               | 看護師   |                   |
|             | 齊藤 美香 先生   | Mana Care Nursing office 代表       |               | 看護師   |                   |
|             | 畠山 千章  | 宮古高等看護学院 専任教員                     |               | 看護師   |                   |
| 授業の概要       | 事例を用いた看護過程の展開をととして、地域で生活する療養者とその家族の暮らしや生き方を尊重した看護実践方法を学ぶ   |                                   |               |       |                   |
| 到達目標        | さまざまな疾病や障害に特徴的な看護の展開方法を理解できる<br>在宅看護展開における具体的な安全管理や倫理的課題を理解できる   |                                   |               |       |                   |
| 事前学習内容      | ①訪問看護制度<br>②地域包括ケアシステム（保険・サービス等）<br>③在宅療養者の特徴（背景・多い疾患等）<br>④事例に関連する病態（疾患から看護まで）  |                                   |               |       |                   |
| 成績評価の<br>方法 | 菊池先生・・・50 点満点                      齊藤先生・・・50 点満点<br>合計 100 点満点    合計点の 6 割に満たなかった場合は再試験  |                                   |               |       |                   |
| 使用テキスト      | 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術   （メディカ出版、第 2 版第 1 冊、2022）<br>地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア   （メディカ出版、第 7 版第 1 冊、2022）<br>参考テキスト：各疾患看護に関連するテキスト  |                                   |               |       |                   |
| 授業回数        | 授業概要（主な学習内容）   |                                   |               | 講師    | 授業形態              |
| 第 1 回       | 在宅療養における看護過程の展開技術（技術 22～）  |                                   |               | 畠山    | 講義                |
| 第 2 回       | 家庭訪問・訪問看護技術（技術 18～）  |                                   |               |       |                   |
| 第 3・4・5 回   | 【演習】家庭訪問   |                                   |               |       | 演習                |
| 第 1 回       | 第 6 章 精神疾患をもつ療養者への在宅看護（事例 8）   |                                   |               | 菊池先生  | 講義<br>グループワーク     |
| 第 2 回       | 第 6 章 慢性期の療養者への看護（事例 1、事例 7）   |                                   |               |       |                   |
| 第 3 回       | 第 6 章 高齢者の在宅療養者への看護（事例 3・4・11）   |                                   |               |       |                   |
| 第 4 回       | 第 6 章 高齢者の在宅療養者への看護（事例 10）   |                                   |               |       |                   |
| 第 5 回       | 第 6 章 神経系難病の療養者への在宅看護（事例 2）  |                                   |               |       |                   |
| 第 1 回       | 第 5 章 在宅療養を支える健康危機・災害対策  |                                   |               | 齊藤先生  | 講義<br><br>グループワーク |
| 第 2 回       | 第 6 章 事例 5 大腸がん終末期      事例 12 乳がん終末期   |                                   |               |       |                   |
| 第 3 回       | 第 6 章 事例 13 脳性麻痺虐待      人工呼吸器について  |                                   |               |       |                   |
| 第 4 回       | 第 6 章 事例 6 ALS 慢性期      事例 9 重症心身障碍児   |                                   |               |       |                   |
| 第 5 回       | 在宅酸素について      医療的ケア児      災害対策   |                                   |               |       |                   |
| 履修上の<br>留意点 | ・グループワーク等を行う予定のため、予め 4 人程度のグループを作成しておくこと<br>・基礎共通知識として事前学習内容は行っておくこと<br>・事前に教科書を必ず読み、関連事項を予習して臨むこと<br>・活発なグループセッションができるように取り組むこと<br>・分からないことはそのままにせず、理解するための積極的行動をとること |                                   |               |       |                   |